

海外派遣留学生 HP 用情報提供資料

留学全体を振り返り、勉学・生活の両面について具体的にご記入ください。

[1] 参加した語学コースの時間数／科目名(受講科目・複数可)

・授業時間数:3時間(Veep コース)、2 時間(GCE コース)

・科目名:Veep,GCE

時間	月	火	水	木	金	土	日
10時15分～12時 (Veep)	○	○	○	○	Free	Free	Free
13時～14時45分 (Veep)	○	○	○	○	Free	Free	Free
15時～16時45分 (Veep)	○	○	○	○	Free	Free	Free

時間	月	火	水	木	金	土	日
9時～12時30分 (GCE)	○	○	○	○	Free	Free	Free
13時30分～15時 45分	○	○	○	○	Free	Free	Free

[2] 授業内容について教えてください。

(クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等)

～Veep コース～

クラス人数:約 15 人

国籍割合:日本人約 60%、韓国人5%、中国人 15%、チリ人10%

授業方法:

一限 Speaking、Writing がメイン(ほとんどがグループワークで行われ、いくつかのテーマに沿って意見を出し合う授業や、日常生活で使える便利なフレーズを用いてゲームを行ったりした。Writing に関しては週に1度お題が出され、それについて A4 一枚分書いてくるのが課題として出されていた程度。)

二限 Speaking Reading Listening (基本的な文法を習いつつ、日本で言うようなリスニングとリーディングの簡単なテストのようなものを定期的に行っていた。発音の仕方やアクセントの特徴についても教科書に沿って学んでいた。)

三限 Project (約1～2週間ごとに先生によってグループが生まれ、そのグループでその週のテーマに沿ってプレゼンテーションを行った。プレゼンを行う為に、各自のホストファミリーや UBC 生、一般の人に大学内でインタビューをし、そこから得た知識や意見からまとめてパワーポイントの資料をつくりクラスで発表する。)

使用教材:HAVE YOUR SAY2 Listening and Speaking Skills and Practice OXFORD

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。

3 か月という短い期間であったため、授業のない金曜日は英語でのコミュニケーション能力を

海外派遣留学生 HP 用情報提供資料

つけるために CA(Cultural Assistants)が開いているアクティビティに参加し、土曜日日曜日は、バンクーバーの自然や食事を味わうためによく出かけていた。また、学校内で出会ったメキシコ人とチリ人の友人がとても積極的にご飯や外出に誘ってくれ、都合のいい日は良く一緒に遊びに行っていた。

一方で平日の余暇時間に関しては、放課後にビーチに行ったり、カフェで友人と会話をしたりしていた。それ以外の日の余暇時間は、家に帰った後ゆっくりその日の授業の分からなかった内容をまとめたり、動画を見て学習したり、疲れをとるため、ベットでくつろいだりしていた。

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

・Nest という大学内にあるフードコートや学習スペースが備わったコミュニティ施設

ここでは、友人とお昼にご飯を食べに来たり、休憩のために来たり、授業で本学生にインタビューを行うために来たり、朝授業が始まる前に勉強をしたりしていた。

[5] 宿舎(寮やホームステイ)での生活について教えてください。

部屋: 1部屋 1人で使用

様子: ホストファミリーは中国人であったため、食事は中華料理がほとんどであった。ホームステイ先の家は、二世帯住宅のような形であったため、私は主にその家のグランドマザーやグランドファザーの家でお世話になり、地下1フロアを一人で使わせてもらっていた。(自分の部屋、マスルーム、小さなキッチン、リビング、洗濯機は基本的に私一人で自由に使わせてもらっていた。)平日に関しては、ホストファミリーの生活リズムと私の授業時間の関係が合わず、ディナーと一緒に食べることはあまりなかった。そのため、一日に会話をする時間はグランドファザーが夜ごはんを持ってきてくれる時のみであった。私のホームステイ先では、特に毎日ホストファミリーに関わるという時間はあまりなかったため、少し寂しくも感じたが、その分比較的制限などは何もなく自由に過ごさせてくれた。

一方で休日には、夜ご飯の時間にホストマザーの家族の家に連れて行ってもらい親戚の方たちとご飯を食べたり、ホストファミリーと私のみでディナーに行ったりしていた。旧正月の時には、新年会に私も参加させてもらい、初めて中国式の新年のお祝いを体験した。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

● 楽しかったこと:

今までに出会ったことのないような人と沢山であって話すことができた事である。この留学期間では、学校内やホームステイ先、日常生活の中で人と関わる機会がとても多くあり、新たに知ることや発見することが沢山あった。その“知らない”に触れる瞬間が私にとってこの留学の中で一番楽しかったことである。現地でできた友人からは、他の国の文化や常識、カナダとの違いを学び、逆に私は日本の文化や常識を伝え、互いに今まで知らなかったことを教え合い学び合ったことがとても面白かった。カフェでその友人と夜遅くまで言語の違いや文化の違いのせいで起こった面白い出来事について話し合ったことがとてもいい思い出である。

● 苦労したこと:

自分の言語力不足のせいで、自分の言いたいことが相手に詳細に伝えることができなかったことである。例えば、新しく出会った人と仲良くなっていくためになるべく多く話しか

海外派遣留学生 HP 用情報提供資料

けようと心掛けても、うまく言いたいことの意味が伝わらず、いまいち会話が盛り上がらないで終わってしまったり、そもそも言いたいことが英語で出てこない時も多くあった。また、相手に何かをしてもらった際に感謝を伝えたい場合も、英語では簡単な典型的な文章しか考えることができず、日本語のように自分の感謝の気持ちを最大限に表現できないことのもどかしさを何度も感じた。

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上:

特にリスニング力はとても身についたように感じる。初めの方は、ホストファミリーや先生の言っていることを理解するために、相手の顔をしっかりと見て集中して聞いていても何を行っているか分からないことが多々あったが、帰るころには全意識を相手にもっていってなくてもスムーズに話を聞くことができるようになり、もしわからなかった場合でも焦ることなく、聞き返すことができるようになった。スピーキングの面では、以前よりも日常会話程度であればあまり困ることはなくなっていると感じた。また、英語を話すことに対する躊躇が留学に行く前と大きく変わっているように感じている。

2) 専門知識の向上:

特になし

3) 自己成長など

私はこの留学を通して、かなり自立し、自分自身のメンタル面に関しても大きく成長できたのではないかと感じている。留学中はもちろん、留学が始まる以前の渡航前の準備や沢山の経験をしていく中で、自然と自己管理の意識が高まっていった上、挑戦心や好奇心が生まれていき、気が付けば気になることならとあえて挑戦してみよう、自分がやりたいと思ったなら挑戦するべきと自分の意志をしっかりと尊重することができるようになっていた。今までであれば両親や友人に頼っていた部分も、自分でやるしかなくなった状況に置かれた事で、自分一人で決断し行うことができるようになっていた。この留学期間では、語学面もそうではあるが、最も自立するという面でかなり成長することができたとも感じた。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

大学生のうちに留学をすることで色々な価値観や文化知ることができるのはもちろん、自分は何が好きで、どんなことに興味があり、どんな人なのか沢山の人と出会うことで感じることもできます。また、これらを知ることによって改めて自分自身の事も見つめなおすとてもいい機会にもなると思います。何事も怖がらず、挑戦してみてください！きっと自分の人生にとって大きな何かを得るともいい機会になると思います。

海外派遣留学生 HP 用情報提供資料

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

項目※詳しく記入して下さい	金額(当時の日本円)
渡航費(旅行会社に支払った経費)	279000 円
授業料以外の諸経費(教材費・課外活動・保険料等)	105000 円
私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)	36000 円
現地からの奨学金がある場合	—
お土産代や個人的な買い物	40000 円
その他(ホームステイ費用)	587000 円
留学に関する費用の総額	104700 円

[10] ホームページに掲載する留学中の写真を貼り付けてください。(複数枚可)

※寮や授業、ホームステイ先など、なるべくご自身が映っている写真をお願いします！



海外派遣留学生 HP 用情報提供資料

